

令和元年度第1回帯広市環境審議会 議事録（概要）

日 時：令和元年7月4日（木）9：30～11：15

場 所：帯広市役所10階 第5A会議室

○出席者（10名）

- ・ 委員：石井委員、板倉委員、梅津委員、加納委員、塩田委員、末安委員、田沼委員、永田委員、丹羽委員、山中委員 ※欠席者4名
- ・ 事務局：川端市民環境部長、小野市民環境部参事、小林環境都市推進課長、西島環境都市推進課長補佐、関井係長、佐々木主任、田中主任補、荒谷主任補、大野係員
- ・ 他課説明員：藤内清掃事業課管理係長
- ・ 傍聴者等：報道関係者1名

○配布資料：座席表、委員名簿、次第、環境審議会委員報酬の振り込みについて（該当委員のみ配布）、帯広市環境白書平成30年度版、帯広市環境基本条例（資料1）、帯広市環境モデル都市行動計画（2019年度～2023年度）、帯広市環境モデル都市行動計画（2019年度～2023年度）の概要（資料2）、第三期帯広市環境基本計画策定スケジュール（資料3）、第二期帯広市環境基本計画（1期目の委員のみ配布）

1 開会

2 委嘱状交付

前田副市長より、出席委員10名に委嘱状を交付。

3 副市長挨拶

4 委員自己紹介

5 事務局員紹介

6 帯広市環境審議会について

帯広市環境審議会について、資料1に基づき事務局より説明。

7 会長及び副会長選出、挨拶

会長は梅津委員、副会長は石井委員に決定。

8 議事

報告事項（1）-1 帯広市環境白書平成30年度版について

帯広市環境白書平成30年度版について、事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

【委員】環境白書 20 ページにある地下水について、有害物質であるテトラクロロエチレンが検出されていますが、原因は特定されているのでしょうか。

【事務局】テトラクロロエチレンは、一般的にはクリーニングなどで使われています。しかし、調査を行っている北海道からは、原因は特定できていないと聞いています。

【委員】テトラクロロエチレンの測定値は年々、減っているのでしょうか。

【事務局】継続して測定していますが、数値に大きな変化がない状況です。

【委員】16 ページに酸性雪の調査結果のグラフがありますが、15 ページの数値と比較すると、調査地点の岩内と八千代がずれていると思うので、差し替えた方が良いのではないのでしょうか。

【事務局】グラフが間違っているので修正します。

【委員】45 ページに都市ガス使用量のグラフがありますが、平成 29 年度の数値には芽室町の工業団地における使用量も含まれているようなので、市内での使用量に修正した方が良いのではないのでしょうか。

【事務局】帯広市統計書の数値を基に作成していますので、帯広市統計書を作成している担当課に都市ガス使用量をどのように把握しているのか確認し、必要に応じて修正します。

【委員】プラスチックゴミについて日本に限らず、世界的にも問題となっていますので、具体的な削減目標があれば、もっと市民に発信した方が良いのではないのでしょうか。また、高齢化が進んでいますので、プラゴミなどの分別について市民に分かりやすい形で発信してはいかがでしょうか。

【事務局】帯広市では国の動きを踏まえ、一般廃棄物処理基本計画を策定していますので、プラスチック製品などについて、発生の抑制、再使用、リサイクルの視点を持ちながら計画を策定し、分別方法なども含め市民の理解が得られるよう、分かりやすい形で情報を発信していきます。

【委員】先日、私が所属する団体でゴミの分別について勉強会をしましたが、分別方法について間違った理解をしている部分があることに気付きました。市民に正しく分別してもらうために、こうした勉強会を積極的に実施してほしいと思います。

【委員】4 ページにリサイクル率の平成 31 年度指標値が 40%とあり、平成 29 年度は 25.5%となっています。説明の中で、指標値に達してはいないが全道的にみるとリサイクル率は決して低くないとありましたが、リサイクル率はどのように算出するのでしょうか。

【事務局】ゴミの総排出量を分母、資源ゴミの収集量や資源集団回収量など資源化できた量を分子にして計算したものです。

【委員】4 ページの大腸菌群数（環境基準）の達成率を見ると、平成 27 年度は 54 分の 49 ということで、54 地点からサンプリングし、49 地点で環境基準を満たしています。平成 28 年度についても 54 が分母になっていますが、平成 29 年度は 46 が分母になっていてサンプリング数が減っていますが、減った理由はあるのでしょうか。

【事務局】大腸菌群数は民間企業に委託をして測定しています。サンプリング数が減っているのは、予算の関係で回数を減らしているものです。

【委員】環境白書 50 ページにある通り、帯広市では昭和 60 年に施行した帯広市緑のまちづくり条例に基づき、保存樹木を指定しています。指定するに当たり、帯広市が調査をして指定をしていると思いますが、全部を調べるのは大変な作業だと思うので、市民に要件に合う樹木につて、指定するように申請してもらってはいかがでしょうか。

【事務局】保存樹木の指定については、担当課がみどりの課になっていますので、今のご意見について、担当課にお伝えします。

報告事項 (1) -2 帯広市環境モデル都市行動計画 (2019 年度～2023 年度) について

帯広市環境モデル都市行動計画 (2019 年度～2023 年度) について、資料 2 に基づき事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

【委員】二酸化炭素排出削減量については、先程の環境白書では平成 29 年度が 19 万 6,000 トンとのことでした。現計画の最終年度である 2023 年度の短期目標が約 32 万 7,000 トンとかなり高いように思いますが、達成する見込みであると考えて良いのでしょうか。

【事務局】平成 29 年度目標の達成状況が 99%となっており、ほぼ計画通りに進んでいます。新たに策定した行動計画においては、実現可能と見込んでいる取り組みを 56 項目設定していますので、目標は達成できるものと考えています。

【委員】行動計画は 5 年間の計画となっていますが、二酸化炭素削減量の目標設定に当たって、5 年間の人口の推移や農業生産量の成長率などの要因は考慮しているのでしょうか。

【事務局】人口が減少すると二酸化炭素排出量が減るなど、社会的な要因に影響される部分はあると思いますが、行動計画の二酸化炭素排出削減量の目標値は、計画に掲げた 56 項目の進捗によって削減される二酸化炭素量を積み上げたものですので、社会的な要因の影響はほぼ受けないと考えています。

報告事項 (1) -3 第三期帯広市環境基本計画について

第三期帯広市環境基本計画について、資料 3 に基づき事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

特になし

(2) その他

【事務局】次回の環境審議会については 7 月 31 日、9 時半から市役所 10 階第 2 会議室での開催を予定しています。